

## 平成27年度 第3回 都市環境デザイン委員会議事概要

日時：平成27年10月16日（金）13：30から

場所：帯広市役所8階 教育委員会室

### 出席委員

武士澤委員長、鳥宮副委員長、赤嶺委員、徳田委員、鳥本委員、福西委員、藤平委員、紅葉委員

### 説明担当者

市民活動推進課 高橋課長  
こども課 大橋保育園・幼稚園係長  
建築営繕課 関主任補、餌取主任補

### 事務局

佐藤都市計画課長、松原課長補佐、吉田基本計画係主査、白田主任、齋藤主任

### 議事概要

1. 開 会
2. 委員長挨拶
3. 平成27年度 都市景観形成主要建築物の協議について  
主な意見・質疑は次のとおりです。

#### ①「(仮称) 第2緑ヶ丘児童保育センター」について

##### 【委員】

敷地の決定について、以前は体育館の北側も検討していたと聞いたが、どのような経緯で現在の計画になったのか伺いたい。

##### 【説明員】

体育館の北側に国有地があり、そこを避けて体育館北側に建築することが難しかった。

学校に出来るだけ近く、グラウンドに支障が生じないように検討し、現在の配置計画、建物形状になった。体育館北側は駐車場として使用する。

##### 【委員】

建物東側を、防球ネットで覆うようだが、外観上どのようなものになるか。

安全上必要なものだと思うが、外観に配慮し透明感のあるネットにしてはどうか。

**【説明員】**

児童保育センターが、グラウンドのサッカーゴールの裏側に位置しているので、小学校及びスポーツ少年団の要望により、通常より高めの防球ネットを設置する。市内小学校で一番高いものが8m程の高さなので、それと同じ高さのもので計画している。

網目は、野球ボールを通さないサイズのもので、通常グラウンドで使用しているナイロン系の緑色がかったものを予定しており、建物がまったく見えなくなるものではないと考えている。

**【委 員】**

東側に屋根勾配がついているが、落雪の対策についてどのような計画か。

**【説明員】**

屋根全面ストッパールーフで落雪しないように計画している。

**【委 員】**

伐採する木の代わりに植える木について、道路沿いに並木があるようなので、周りとの連続性があれば良いと思う。

**【委 員】**

植樹する木について、樹種、高さについて伺いたい。

**【説明員】**

現在の計画では、「ヤマナラシ（エレクタ）」という木で樹高3mのものを考えているが、地域住民の意見を取り入れて決定する。

**【委 員】**

児童保育センターの子どもが、学校のグラウンドを使うことはあるのか。建物とグラウンドのつながりが感じられない。

**【説明員】**

スポーツ少年団のグラウンド使用との兼ね合いもあるが、児童保育センターでもグラウンドの使用を想定している。

**【委 員】**

防球ネット・支柱の色も含めて、建物とグラウンドが一体感があるように、景観への配慮をしていただきたい。

**【委 員】**

外壁の色の決定方法について伺いたい。

**【説明員】**

外壁パターンを数種類つくり、子どもたちに投票してもらい決定した。

**【委員】**

採光上配置されている窓について、顔のように窓を配置するとか、ユニークな配置にできたら面白いと思う。可能であれば、窓の配置を工夫していただきたい。

**【委員】**

入り口のサインについて、道路からは木があり見えないのではないか。また、入り口の上につけるには文字が大きすぎるように感じる。設置位置が高い。

**【委員】**

サイン看板は、地域住民に分かりやすいものにした方が良いと思う。同系色ではなく、アクセントカラーを使ってみてはどうか。

**【説明員】**

サインについては変更も可能なので、ご意見を取り入れて検討したい。

**【委員】**

小学生に一番配慮した点について伺いたい。

**【説明員】**

外壁色や屋根形状についてパターンを提示し、子どもたちに選んでいただいたことが配慮した点である。

**【委員】**

西側のフェンスがかなり老朽化しているので、新しくしてはどうか。

**【説明員】**

工事にかかる部分については撤去して新設する予定である。それより北と南については既存のまま使用する。

**【委員】**

既存のフェンスと新設するフェンスの色のバランスも考えていただきたい。

②（仮称）清流の里福祉センターについて

**【委員】**

近隣住民に対する説明会を開催しているか。北側駐車場出入り口について反対意見は出なかったか。

**【説明員】**

説明会を開催し、使い勝手の面での意見を受け、北側から出入りできるように計画変更した。

**【委員】**

屋根からの落雪について、北側はストッパールーフとなっているが、南側は人や車への危害の心配がある。

**【説明員】**

駐車場の縁石の位置は建物から1m程位置で計画していたが、ご意見を参考に検討する。

**【委員】**

トイレや玄関について、バリアフリー対応はどのようになっているか。

**【説明員】**

バリアフリーということで、段差をつけない計画である。ただし、玄関は段差がない既存施設で、虫が入ってくるという意見があるので、上がり框で10mmほど上げるなど、バリアフリーに配慮した中で、対策を検討する。

**【委員】**

図面に煙突があるが、薪ストーブを設置するのか。

**【説明員】**

ペレットストーブを設置する。地域住民の方が割り箸を持ち寄り、はぐく一むでペレットに再資源化し、ストーブで使うという地域循環の取組みを行っている。FF式のペレットストーブもあるが、割り箸から作ったペレットを燃やすため、煙突式のペレットストーブを設置する。

**【委員】**

図面では低い位置から煙突が出ているが、通行等の支障にならないか。煙突の設置が軒に近い位置であるため、屋根から上の煙突部分が長いが、風等の影響がないか心配である。

**【説明員】**

煙突の出る位置は、通行の支障にならない高さに変更している。風の影響については大丈夫であると考えているが、長さについて再検討する。

**【委員】**

煙突設置のため西側の軒を出していないのか。

**【説明員】**

通行人への配慮のためであったが、結果的に煙突の設置に適した状態になった。

**【委員】**

すすの清掃はどのぐらいの周期で行うのか。

【説明員】

ひと月に1回と聞いている。清掃は大掛かりなものではない。燃料に割り箸を使うので、灯油よりランニングコストは安くなる。

【委員】

外壁等の色は、特別なプログラムを行い選択しているのか。

【説明員】

特にどなたかに意見を聞くということはない。

【委員】

都市景観形成主要建築物に選定された場合、デザイン委員会での意見とは別に、プログラムを組み、積極的に考えてはいないのか。

【事務局】

建物の種類によって配慮すべきことが異なると思うので、何か特別なプログラムを義務付けて行うということはない。

【委員】

デザインはガイドラインにのっとって行っていると思う。外観の色については、周囲に配慮して中間色で落ち着いた雰囲気にしてほしい。

【委員】

外観について、屋根と腰壁部分の色を合わせており整っていると思うが、色合いが重く感じる。可能であれば、玄関ポーチのレンガ調の暖かい感じに合わせて、屋根もしくは腰壁のどちらかの明度を上げると、やわらかくなり重たさがとれるのではないかと思う。もし腰壁の色を変えて明るくした場合は、玄関ポーチの暖色に合わせて、窓枠は黒より焦げ茶が良いかもしれないので、それも含めて検討していただきたい。

【説明員】

屋根は濃紺を予定しているが、パースではかなり濃い色になってしまっている。色についてはもう少し検討したい。

#### 4. 平成27年度 第11回帯広市まちづくりデザイン賞の選考について

応募案件について各委員の総評・評価点をまとめ、以下のとおり選考しました。

《最優秀賞》 bien-etre Pinokio (ビアンネートルピノキオ)

《優秀賞》 store REALE (ストアレアーレ) 公園東町

【事務局】

今後、事務局において受賞決定、報道発表、表彰式を行いません。表彰式の日程等決まりましたら、お知らせします。

## 5. その他

### 【委員長】

全体を通して、意見はございませんか。

### 【委員】

本年度の開催予定は、今回も含め3回となっているが、デザイン賞の表彰、都市景観形成主要建築物の協議結果の反映状況について、経過や結果報告として、年度内にもう一度開催していただきたい。

### 【事務局】

ご意見のとおりと思いますので、結果等が出た段階で、もう一度開催したいと思います。

### 【委員】

委員の任期について、景観の検討には長い期間を要するため、最大10年という任期は短すぎるので、延長の検討はできないか。

### 【事務局】

市として附属機関等の任期は「在職年数10年を目途とすること」という指針があり、10年以上というのは、出来なくはないが難しい。

### 【委員】

景観法（景観行政団体への移行）について、6年ぐらい前までは、検討が盛んに行われ、委員会も年7回ほど開催され、景観法の勉強会等も行っていった。近年、道内各地でも景観法を取り入れる自治体も増えており、景観法の協議を再開した方がよいのではないか。

### 【事務局】

景観行政団体の議論は、市の内部調整等が進まなかったこともあり、具体的な移行の議論の前にトーンダウンしてしまった。

進め方などについて、検討していかなければならないと考えているので、次回以降の委員会での検討に向け、お時間をいただきたい。

## 6. 閉会

以上